

いのち・くらしを守る鴻巣市政へ

福祉・教育優先の街づくりを



日本共産党
鴻巣市会議員

すわみつえ

すわみつえ通信

2019年 3月 号外

日本共産党鴻巣市会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで suwa-mitsue.jp/

ホームページで すわみつえの政策
とお約束をご紹介します。

みなさんの要求実現に向けて頑張ります

- 国民健康保険税の引き下げ、介護保険料の軽減
- 地域医療の充実
- 小規模校存続で地域を守る
- 学校給食の無償化、食材の値上げ分は市が補助を
- 鴻巣駅にエレベーター・エスカレーターの設置
- 新ゴミ処理施設は適切な規模と場所で
- 消費税の増税に反対します
- 憲法を守り平和で人権が尊重される社会をめざします



すわみつえ あなたの声を市政に

1期4年間、市民のみなさんの声を届け、皆さんとともに要求実現に全力で取り組んでまいりました。

国が社会保障予算を減らし続けている中で、消費税を増税すれば、すべての世代のくらしがさらに苦しくなります。市民のいのち・くらしを守る自治体の役割が大変重要です。高すぎる国保税、保険あって介護なしの介護保険制度。保育は基準緩和が進み、子どもたちの安全がおびやかされています。

市政に憲法を生かして、市民のくらし・福祉・教育の充実が最優先となるよう、引き続き全力をつくします。

すわみつえ プロフィール

- 1956年・千葉県海上町(現・旭市)生まれ、銚子高等学校卒業
- KDD(現KDDI)24年間勤務、介護福祉士・ケアマネージャーとして介護の現場15年間勤務、鴻巣市介護認定調査員を1年間
- 2015年4月・鴻巣市議会議員に初当選、現在、鴻巣市議会文教福祉常任委員、埼玉県中部環境保全組合議員
- 子育てわくわくサロンボランティア、鴻巣市ファミリーサポート会員、
- 趣味:旅行、和菓子食べ歩き



「消費税10%増税NO」の署名を街頭から訴える

誰もが安心して暮らせる鴻巣市政へ 願い実現にみなさんと取り組みます

赤見台第二小学校 校庭前歩道の草刈り

赤見台第二小学校校庭前の歩道が子どもの背の高さほど草で覆われていたことから、市に改善を求め、2018年8月に改善されました。きれいに草が刈られ、2学期に間に合いました。



草刈り前



草刈り後

住民の要望でトイレを改善



住民の声を市に伝え「吹上駅南口の女子トイレ洋式化と出入口の目隠し」「川里中央公園トイレの目隠し」が設置されました。



住民のみなさんとともに 赤見台近隣公園を守りました



5年前、赤見台近隣公園に総合病院を誘致する計画が突然出されました。住民の皆さんの「公園をつぶさないで」の声を毎議会で取り上げて、皆さんとともに公園を守りました。今、箕田地域に新たな病院計画があります。

氷川町の陥没道路を補修

鴻巣駅西口の早朝宣伝の時に、いつも「すわみつえ通信」を受け取っていただいている市民の方から『氷川町の陥没した道路で自転車に乗った子どもが転んだ』と声を寄せていただきました。市に改善を求めたところ、即日で補修されました。



補修前



補修後

4年間の地域要求実現への取り組み

小学校は災害から命を守る避難所です!!

学校は耐震工事が施された建物です。食料・水を補給する防災倉庫、炊き出しもできる給食室があり、もちろん水洗トイレもあります。

「小中学校統廃合しないで」の声を市議会へ届けています



児童・生徒数の減少から、川里地域の小学校3校と中学校を統廃合し、小中一貫校を進める計画には反対です。また、笠原小など小規模を理由とした学校の統廃合には反対です。「学校は地域の宝」であり、なくしてはならないと、市議会で取り上げました。これからも、各地域のみなさんと協力して、住民の意見が十分に反映されるよう取り組んでいきます。

大芦地区において 雨で水が溜まる道路(陥没)の補修

大芦地区の吹上整形外科さんの前の道路は、陥没がひどく雨が降るたびに水溜まりになっていました。市・道路課に改善を要請し、修繕されました。

補修前



補修後



消費税増税に反対します!

消費税は3%から5%に増税されたときも、8%に増税されたときも、私たちの暮らしや経済に大きな打撃を与えました。10%に増税されれば、ますます景気は後退し、私たちの暮らしを直撃します。消費税の増税は許すことではできません。



伊藤 岳参議院候補と署名活動中

国民健康保険税は引き下げを!

国民健康保険税は私たちの家計に重くのしかかっています。1984年をピークに国の負担を引き下げ続けた結果、払いたくても払えない世帯が増えています。高すぎる国保税は国の責任で引き下げさせることが大切です。

